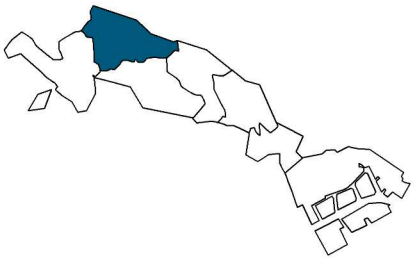
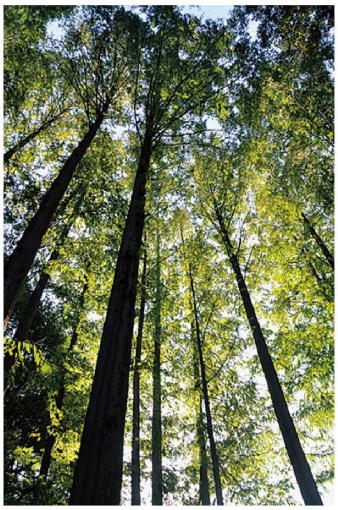
多摩区地域福祉計画

（素案）

多摩区のプロフィル





多摩区は、多摩川や生田緑地などの豊かな自然環境と、小田急線・ＪＲ南武線などの交通利便性をあわせ持つまちです。また、区内には大学が立地し、若い世代から高齢者まで、多様な世代が暮らしています。



近年は登戸地区を中心としたまちづくりの進展や集合住宅の増加により、人口と世帯数が継続的に増加しています。令和７年９月末現在の人口は220,203人、世帯数は121,718世帯となっており、直近５年間の人口増加数は7,822人で、市内７区の中で最も高い伸びを示しています。

また、生産年齢人口（15～64歳）の割合は70.0％で市内第２位となっており、子育て世代や働く世代が多く暮らしていることも特徴です。

さらに、外国人住民人口は直近１年間の増加数が971人と市内で２番目に多く、多様な文化や価値観を持つ人々が共に暮らしています。新たな住民の流入も続いていることから、誰もが地域と関わり、支え合いながら安心して暮らせる地域づくりが重要になっています。

多摩区の基本データ

人口	220,203人	生産年齢人口割合（15～64歳人口）	70.0％（市内２位）
男性	111,864人		
女性	108,339人	外国人住民人口	6,883人
平均年齢	44.1歳		
世帯数	121,718世帯		
人口増減数（直近５年合計）	7,822人（市内１位）	外国人住民人口増減数（直近１年）	971人（市内２位）
出生率	7.8‰	昼夜間人口比率	79.1％

資料：〔平均年齢〕川崎市統計情報「川崎市年齢別人口」（令和７年９月末日現在）
〔人口/世帯数〕川崎市統計情報「町丁別世帯数・人口」（令和７年９月末日現在）
〔人口増減数〕川崎市統計情報「川崎市の人口動態」（令和３～７年の合計値）
〔生産年齢人口割合〕川崎市統計情報「長期時系列データ（人口）」（令和７年10月１日現在）
〔外国人住民人口〕川崎市統計情報「川崎市管区別年齢別外国人住民人口」（令和７年９月末日現在）
〔昼夜間人口比率〕令和７年国勢調査（令和７年10月１日現在）
〔出生率〕川崎市統計書「出生・死亡・婚姻・離婚数の推移」（令和５年１～12月の出生率）

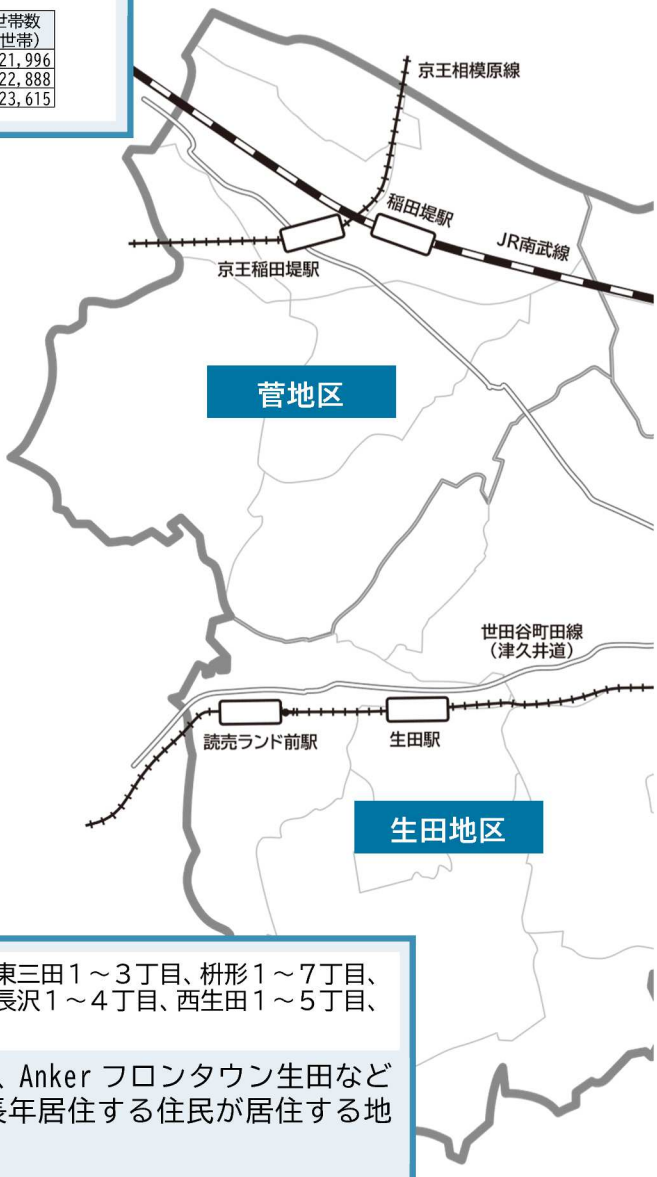
多摩区をもっと細かく見てみる -地域ケア圏域（地区）の概況-

菅地区

菅１～６丁目、菅稲田堤１～３丁目、
菅北浦１～５丁目、菅城下、菅仙谷１～４丁目、
菅野戸呂、菅馬場１～４丁目

多摩区北西部に位置し、多摩川に接する平地部（北部）と丘陵部（南部）で構成される。JR 南武線稲田堤駅・京王相模原線稲田堤駅があり、都心へのアクセスが便利。歴史的な寺社仏閣や伝統的な行事が残る地区。

	人口（人）					高齢化率（%）	世帯数（世帯）
	地区人口	14歳以下	15～64歳	65～74歳	75歳以上		
令和２(2020)年	43,950	4,964	30,419	4,434	4,133	19.5	21,996
令和５(2023)年	44,223	4,805	30,534	4,262	4,622	20.1	22,888
令和７(2025)年	44,481	4,709	30,536	4,230	5,006	20.8	23,615



生田地区

生田１～８丁目、東生田１～４丁目、東三田１～３丁目、枡形１～７丁目、
栗谷１～４丁目、寺尾台１～２丁目、長沢１～４丁目、西生田１～５丁目、
三田１～５丁目、南生田１～８丁目

生田緑地や明治大学、専修大学、日本女子大学、Anker フロンタウン生田などの地域資源に恵まれ、学生を含む若い世代と長年居住する住民が居住する地区。

	人口（人）					高齢化率（%）	世帯数（世帯）
	地区人口	14歳以下	15～64歳	65～74歳	75歳以上		
令和２(2020)年	75,482	8,684	50,564	7,646	8,588	21.5	38,764
令和５(2023)年	75,698	8,095	51,353	7,010	9,240	21.5	40,293
令和７(2025)年	76,456	7,717	52,282	6,729	9,728	21.5	41,828

資料：川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」「町丁別世帯数・人口」（各年９月末日現在）

中野島地区

中野島、中野島１～６丁目、布田

JR 南武線中野島駅を中心とする地区。多摩川に近接し、二ヶ領用水や三沢川が流れている。住宅地を主体とし、駅周辺には商店街が形成されている。地域内には多摩老人福祉センターなどの公共施設が立地している。

	人口（人）					高齢化率（%）	世帯数（世帯）
	地区人口	14歳以下	15～64歳	65～74歳	75歳以上		
令和２(2020)年	23,257	2,462	15,545	2,659	2,591	22.6	11,780
令和５(2023)年	23,621	2,422	15,695	2,595	2,909	23.3	12,379
令和７(2025)年	23,816	2,362	15,819	2,487	3,148	23.7	12,820

登戸地区

和泉、登戸、登戸新町

登戸駅や向ヶ丘遊園駅を有し、交通利便性が高い。駅周辺では再開発が進み、転入者や若い世代の流入が多く見られるほか、大規模マンションの増加や新たな公園の整備などまちの姿が大きく変化している。

	人口（人）					高齢化率（%）	世帯数（世帯）
	地区人口	14歳以下	15～64歳	65～74歳	75歳以上		
令和２(2020)年	27,594	2,737	20,853	1,860	2,144	14.5	16,538
令和５(2023)年	29,307	2,882	22,402	1,803	2,220	13.7	17,956
令和７(2025)年	31,228	3,105	23,976	1,819	2,328	13.3	19,284



稲田地区

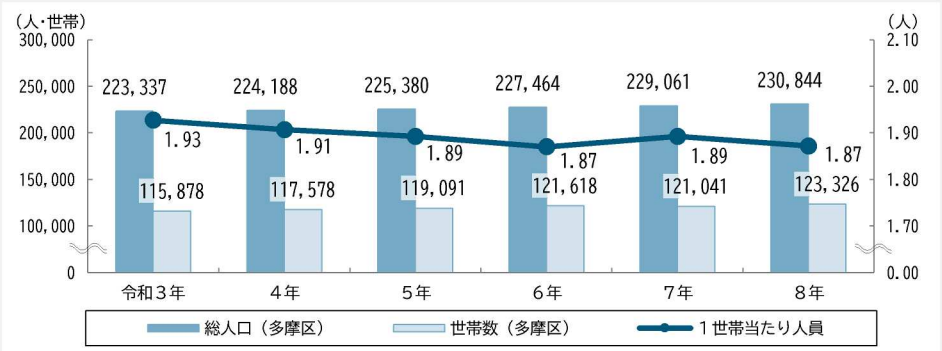
宿河原１～７丁目、堰１～３丁目、長尾１～７丁目

二ヶ領用水沿いに広がる地区。宿河原・堰の平坦地と長尾の丘陵地で構成される。宿河原堤の桜並木や川崎市緑化センター、長尾山妙楽寺などの地域資源を有する。

	人口（人）					高齢化率（%）	世帯数（世帯）
	地区人口	14歳以下	15～64歳	65～74歳	75歳以上		
令和２(2020)年	42,457	4,892	29,342	4,022	4,201	19.4	22,159
令和５(2023)年	43,672	4,960	30,380	3,801	4,531	19.1	23,322
令和７(2025)年	44,222	4,796	30,908	3,758	4,760	19.3	24,171

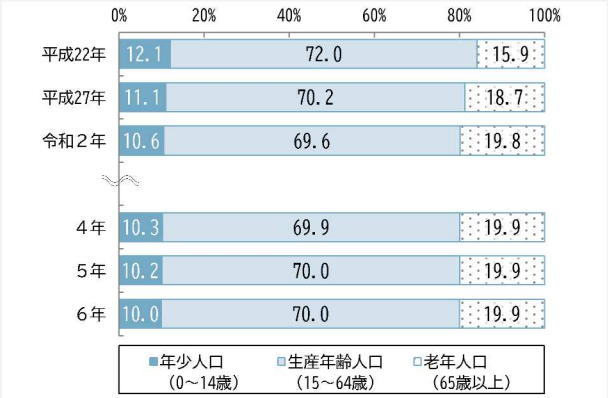
数字で見る多摩区

【１】総人口・世帯数・１世帯当たり人員の推移



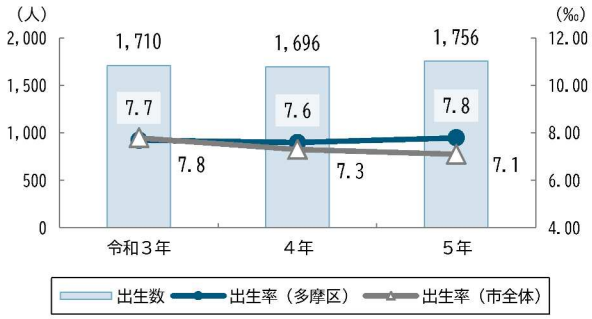
資料：川崎市統計情報
「川崎市の世帯数・人口」
（各年 10 月１日現在、令和７年は国勢調査の速報値、令和８年は６月１日現在）

【２】年齢３区分別人口割合の推移



資料：川崎市統計情報「長期時系列データ（人口）」

【３】出生数・出生率の推移



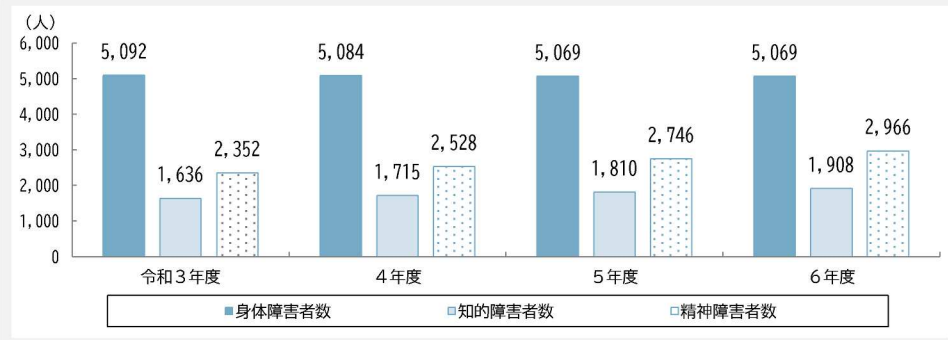
資料：川崎市統計書「出生・死亡・婚姻・離婚数の推移」
（各年１～12 月の出生数・出生率）

【４】ひとり暮らし高齢者数の推移



資料：国勢調査
（各年 10 月１日現在）

【５】障害者手帳所持者数の推移



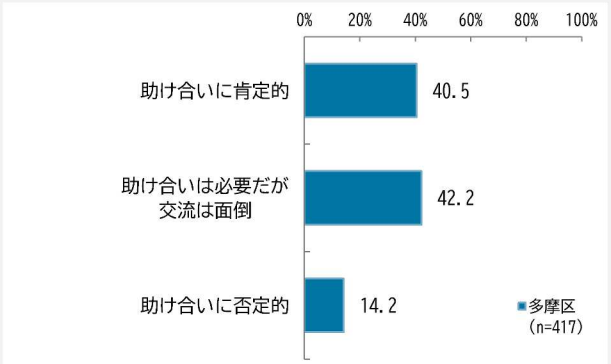
資料：川崎市統計書
「障害者の概況」
※知的障害者数は判定のみ受けて手帳を所持していない者も含む。

第７回川崎市地域福祉実態調査等の主な結果

◎近所づきあいや地域住民同士の交流はどの程度必要？

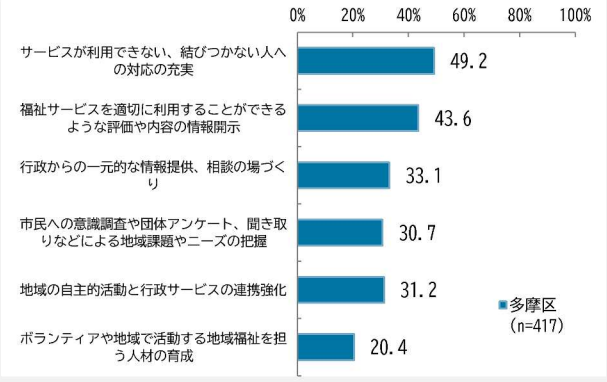
「助け合いに肯定的」「助け合いは必要だが交流は面倒」が合わせて８割以上となっています。

※回答結果を要約



◎地域福祉を推進するために、行政が取り組むべきことは？（複数回答）

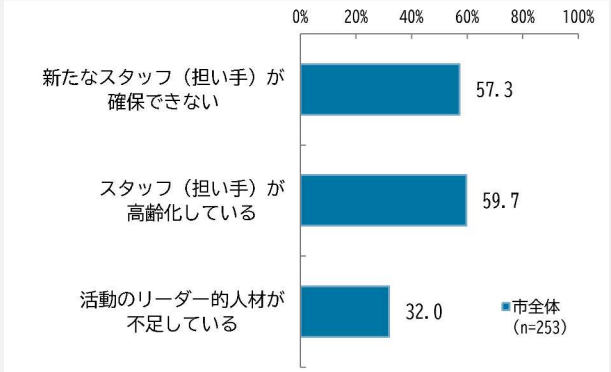
「サービスが利用できない・結びつかない人への対応の充実」「福祉サービスに関する情報開示」の割合が４割を超えています。※上位回答のみ抜粋



◎地域で活動している団体が課題だと感じていることは？（複数回答）

「新たなスタッフ（担い手）の確保ができない」「スタッフ（担い手）の高齢化」が約６割となっています。

※団体アンケート結果

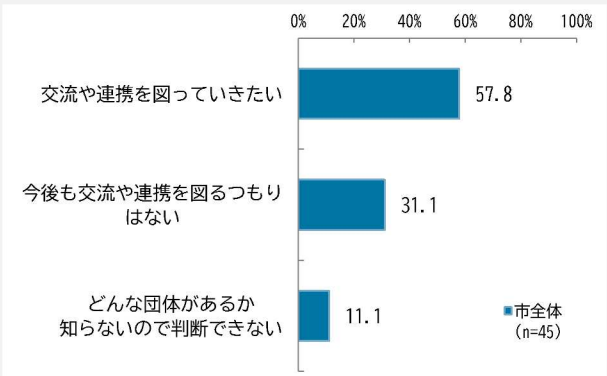


◎今後、他の団体（行政は除く）と交流や連携を図っていきたいか？

「交流や連携を図っていきたい」の割合が約６割と最も高くなっています。

※団体アンケート結果

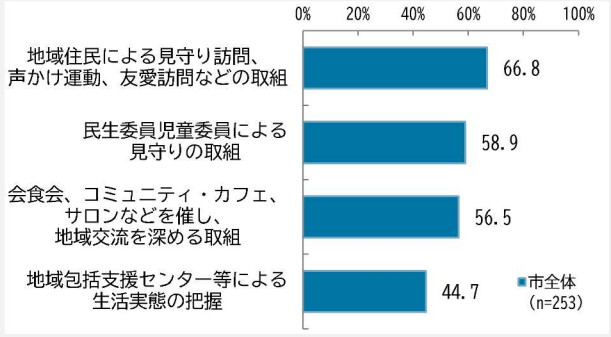
※他団体と交流や連携を図っていない団体が対象



◎社会的不安や孤独・孤立の問題に対応するために、地域での見守りの取組として有効だと思うことは？（複数回答）

「住民による見守りや声かけ」が最も高く、「民生委員等の見守り」「サロン等の交流」が５割を超えています。

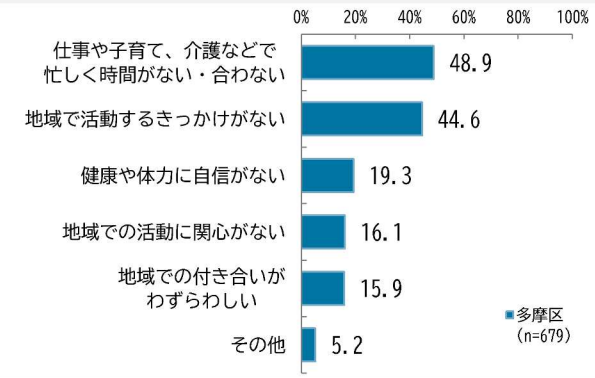
※団体アンケート結果



◎地域活動やボランティア活動に参加しない理由は？（複数回答）

「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・合わない」「きっかけがない」が４割を超えています。

※令和６年度多摩区区民意識アンケート結果



多摩区の現状から見えてきた課題



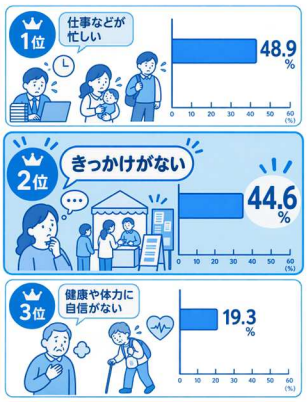
【統計データ】

●人口、世帯数ともに増加



【地域福祉実態調査等】

●地域活動やボランティア活動に参加しない理由



【区内会議・地域の声】

●地域活動の情報が届かない

●制度やサービスの情報が届かない



【統計データ】

●年少人口割合は低下

●老年人口割合は上昇
⇒少子高齢化が進展



【地域福祉実態調査等】

●他団体（行政除く）と交流や連携を図っていきたいか



【区内会議・地域の声】

●地域活動の担い手不足

●一人暮らし高齢者の方とつながれるイベントがあるとよい



【統計データ】

●ひとり暮らし高齢者数
令和２年 8,822 人
（高齢者人口の 20.1%）



【地域福祉実態調査等】

●地域の人たちにどんな手助けをしてほしいか
→見守り・声かけ・安否確認

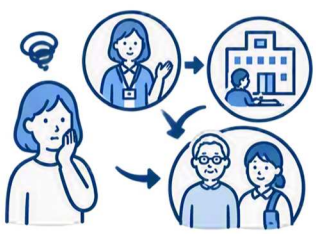


【区内会議・地域の声】

●必要な介護や福祉サービスの利用につながらない高齢者がいる

●孤立防止の必要性

●支援困難の要因が複雑化



第８期多摩区地域福祉計画の**３つの基本方針ごと**に整理をしています。
（３つの基本方針については、次ページ以降に掲載しています）

多摩区の３つの課題

1 地域とのつながりと参加のきっかけ

- 情報が届きにくい
- 参加のきっかけが少ない
- 新たな住民との接点づくり



【第７期計画振り返り】

地域のつながりや支え合いの大切さを伝えるため、多様な媒体を活用した情報発信や普及啓発を進めるとともに、地ケアフォーラムなどを通じて、活動や地域との関わりのきっかけづくりに取り組んできました。第８期では、つながりや参加のきっかけづくりをさらに進め、誰もが地域と関わる機会を持てる環境づくりを推進します。

2 地域活動を支える人とのつながり

- 担い手不足・高齢化
- 活動の継続や発展の課題
- 多様な主体との連携不足



【第７期計画振り返り】

住民や事業者、関係機関、団体が連携する協議会や交流会等を通じて、多様な主体がつながる機会づくりに取り組んできました。また、地域づくりや担い手育成、活動支援を進めながら、身近な地域での支え合いの輪を広げてきました。第８期では、多様な主体の連携をさらに深めるとともに、地域活動を支える人や団体のつながりづくりを推進します。

3 見守りと支援につながるしくみ

- 見守りニーズの増加
- 支援が届きにくい人の存在
- 複雑化する地域課題



【第７期計画振り返り】

区民や民間事業者と連携しながら、見守りや相談支援の取組を進めるとともに、地域ケア会議や各種協議会等を通じて、支援が必要な人を適切な制度やサービスにつなげる仕組みづくりに取り組んできました。第８期では、地域での気づきや見守りを大切にしながら、誰もが必要な支援につながることができる体制づくりを推進します。

第８期多摩区地域福祉計画の基本方針へ

多摩区がめざす地域福祉 -基本方針-

第８期川崎市地域福祉計画

基本理念

市民一人ひとりが共に支え合い安心して暮らせるふるさとづくり
～川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの進化に向けて～

基本目標

1	自分らしく暮らし続けるための備えを進める
2	身近な地域でつながり支え合う
3	困りごとに寄り添う支援を届ける
4	誰もが支え手になれる地域をつくる

多摩区の基本方針

基本方針1 地域と関わるきっかけをつくり、つながりを生み出す

地域や支え合いへの関心を実際の活動や交流につなげるため、情報発信の充実と参加しやすい機会の創出を進めるとともに、誰もが地域との**つながり**を持ち、関わりを深められる環境づくりを進めます。

関連する基本目標 1 2

基本方針2 地域の活動を支え、つながりの輪を広げる

高齢化や人材不足が進む中でも地域活動が継続できるよう、担い手の育成や活動団体への支援の充実を図るとともに、多様な主体が**つながり**、交流・連携を深めながら、地域の支え合いの輪を広げます。

関連する基本目標 2 4

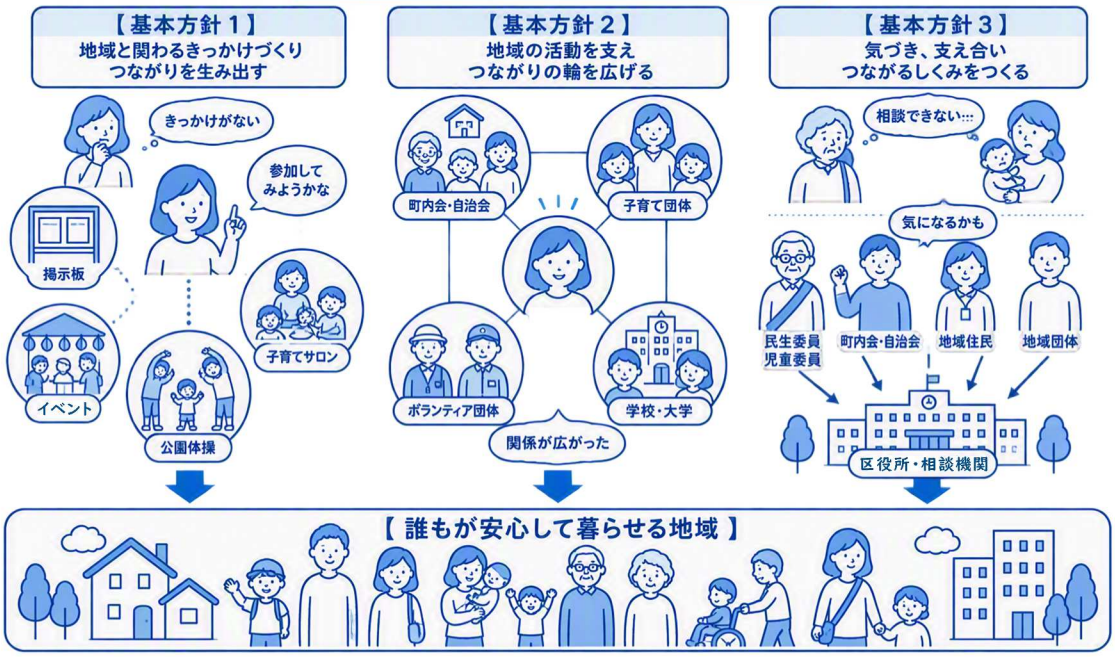
基本方針3 気づき、支え合い、つながるしくみをつくる

地域での見守りや声かけを通じて、支援を必要としていても自ら相談できない人に気づき、適切な相談・支援に**つなげる**とともに、多様な関係機関の連携による支援体制の充実を進めます。

関連する基本目標 3 4

多摩区の３つのつながり

つながりを生み出し、広げ、支援につなげる



基本方針１

地域と関わるきっかけをつくり、つながりを生み出す

地域や支え合いへの関心を実際の活動や交流につなげるため、情報発信の充実と参加しやすい機会の創出を進めるとともに、誰もが地域とのつながりを持ち、関わりを深められる環境づくりを進めます。

	重点的に進めること	主な取組
1	**《伝える》** **【地域の情報や活動を伝える】** 地域の情報や活動に触れる機会を提供し、地域との接点づくりを進めます。	●子育て世帯、高齢者、障害のある方の暮らしを支える情報や、防災、健康づくりなどに関する情報を発信し、地域を知るきっかけをつくります。 ●地域活動や福祉サービス、支援制度を知る機会を充実させ、地域との接点づくりを進めます。
2	**《つくる》** **【地域参加の機会をつくる】** 気軽に参加できる機会を通じて、地域参加への一歩を後押しします。	●イベントやお祭り、子育てひろば、防災や健康づくりの取組など、誰もが気軽に参加できる機会を創出し、地域参加への一歩を後押しするとともに、人と人とのつながりづくりを進めます。

【具体的な取組】



地域との接点をつくる場
－ **パサージュ・たま** －



地域活動を始める「出会いの場」
－ **地ケアフォーラム** －



地域とゆるやかにつながる場
－ **思いっきり外遊び** －

基本方針２

地域の活動を支え、つながりの輪を広げる

高齢化や人材不足が進む中でも地域活動が継続できるよう、担い手の育成や活動団体への支援の充実を図るとともに、多様な主体がつながり、交流・連携を深めながら、地域の支え合いの輪を広げます。

	重点的に進めること	主な取組
1	**《支える》** **【人・団体・場を支える】** 地域活動を担う人・団体・場を支え、活動が続いていくよう支援します。	●地域活動の担い手を育成するとともに、町内会・自治会や民生委員児童委員、市民活動団体等への支援、活動拠点の充実を通じて、地域活動が継続・発展できる環境づくりを進めます。
2	**《広げる》** **【人・団体・地域の輪を広げる】** 人・団体・地域をつなぎ、新たな活動やつながりが生まれるよう支援します。	●地域団体や関係機関、大学、事業者等が情報共有や意見交換を行う機会を通じて、新たなつながりや協働を生み出し、地域全体で支え合う取組の輪を広げます。

【具体的な取組】



認知症を知ることから
地域の支え手を育む
-認知症サポーター養成講座-



人と人、人と地域をつなぐ取組
－５地区を基盤とした地域づくり－



子育て支援の第一歩から
地域の担い手を育む
-子育て支援　入門講演会-

基本方針３

気づき、支え合い、つながるしくみをつくる

地域での見守りや声かけを通じて、支援を必要としていても自ら相談できない人に気づき、適切な相談・支援につなげるとともに、多様な関係機関の連携による支援体制の充実を進めます。

	重点的に進めること	主な取組
1	**《見守る》** **【地域の力で見守る】** 地域における見守りや声かけ活動を支援し、変化や困りごとの早期発見につなげます。	●地域住民や関係機関、事業者などが連携し、見守りや訪問活動、声かけを通じて、孤立や生活上の困りごとを抱える人の変化に気づき、地域全体で見守り支え合う取組を進めます。
2	**《つなげる》** **【必要な支援につなげる】** 相談体制の充実と関係機関の連携を進め、必要な支援につなげます。	●子どもから高齢者、障害のある方まで、様々な困りごとに対応できる相談支援体制の充実を図るとともに、関係機関が連携しながら、一人ひとりの状況に応じた必要な支援につなぐ取組を進めます。

【具体的な取組】



地域全体で見守り
気づきを支える仕組み
-川崎市地域見守り
ネットワーク事業-



子育て家庭と地域・支援をつなぐ場所
－地域子育て支援センター（すくすくひろば）－



支援が必要な人を
地域で支え
つなげる仕組み
－地域ケア会議－

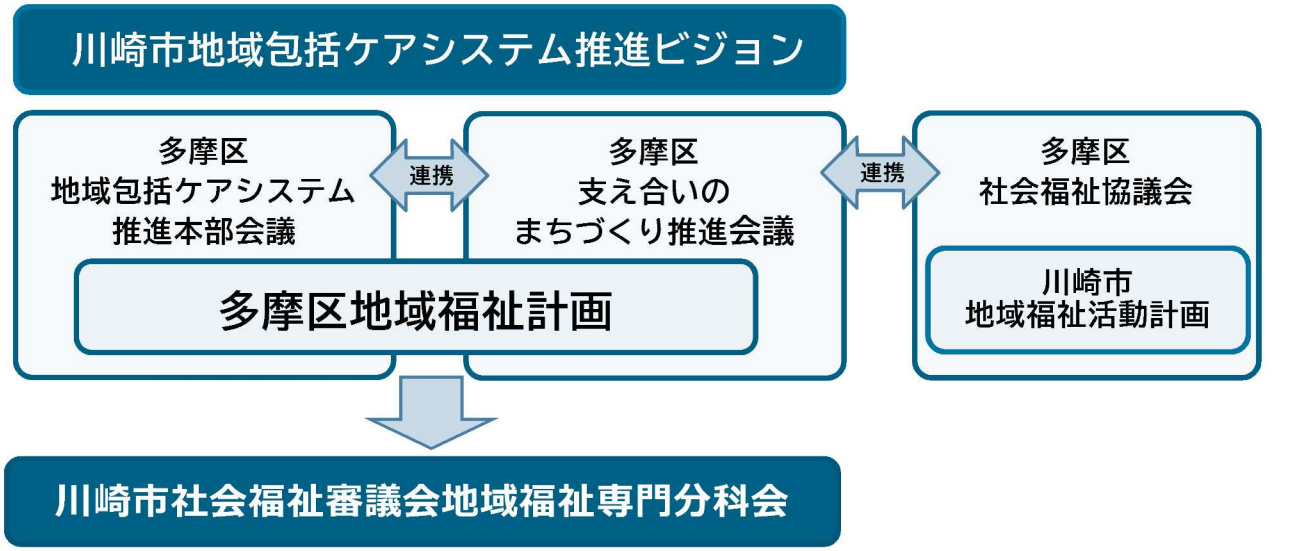
計画の進行管理と評価

本計画の推進にあたっては、福祉、保健、医療、教育、まちづくりなど、幅広い分野に関連していることから、地域包括ケアシステムの構築・推進に向けた施策の企画及び立案等を行う「多摩区地域包括ケアシステム推進本部会議」において、計画に含まれる取組の進捗管理及び推進に関わる検討を行っています。

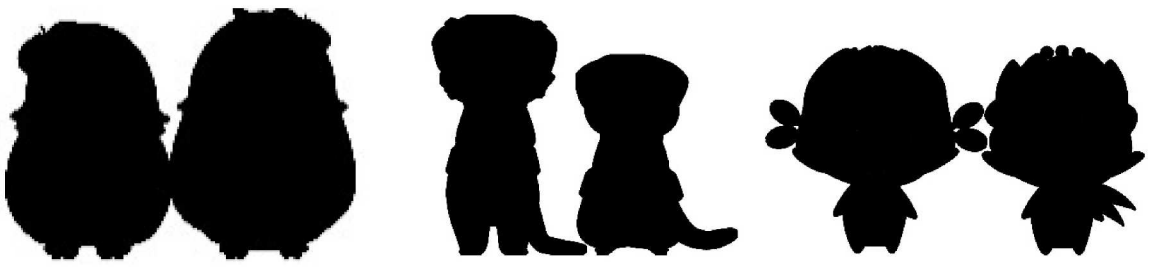
また、学識経験者や関係機関・団体等で構成される「多摩区支え合いのまちづくり推進会議」において、地域包括ケアシステムの推進に関する取組や本計画等への意見を求めるとともに、専門的な立場や区民の視点で計画の推進及び進捗管理等の点検を行います。その後、「川崎市社会福祉審議会地域福祉専門分科会」において、区計画の点検結果を踏まえ、川崎市地域福祉計画と一体的に、地域福祉施策の評価等を行っていきます。

さらに、「川崎市地域福祉活動計画」を策定している市・区社会福祉協議会と地域の課題や情報を共有し、相互に連携しながら、支え合いのまちづくりを進めていきます。

【第８期計画の推進体制】



【多摩区地域包括ケアシステムキャラクター
〇〇〇&〇〇〇】



計画だけでは伝えきれない「つながりのカタチ」

【第８期多摩区地域福祉計画 地域のつながりガイドのご案内】
～多摩区で見つける つながりのカタチ～

第８期多摩区地域福祉計画では、多摩区が目指す地域づくりの方向性を示しています。
一方で、地域では日々、多くの人や団体による支え合いの活動が行われています。
地域のつながりガイド「多摩区で見つける つながりのカタチ」では、区計画に掲載している取組や事業をより詳しく紹介するとともに、計画だけでは伝えきれない地域の実践や活動を紹介しています。





QR

第８期多摩区地域福祉計画 地域のつながりガイド
「多摩区で見つける つながりのカタチ」

多摩区支え合いのまちづくり推進会議委員名簿

氏名	所属
浅谷　裕子	多摩区民生委員児童委員協議会
大澤　敏夫	川崎市多摩区社会福祉協議会
小川　町子	多摩区食生活改善推進員連絡協議会
和　　秀俊	田園調布学園大学
川村　由布子	多摩区地域自立支援協議会
櫛笥　永晴	多摩区医師会
楠　　静子	多摩区老人クラブ連合会
小山　富士子	多摩区子ども会連合会
坂本　顕隆	多摩区町会連合会
島峯　諭	多摩区商店街連合会
永井　浩之	登戸地域包括支援センター
眞壁　総子	多摩区こども総合支援連携会議